

YES BANK株式の取得完了・追加取得について

- ◆ インドの商業銀行YES BANKの株式20%の取得完了、あわせて4.2%の追加取得について合意
- ◆ 同時に、事業ポートフォリオの入替のため、Kotak Mahindra Bankの全株式持分1.65%を売却

YES BANKへの出資

- 発表済の株式20%取得が完了、非執行取締役2名も就任の上、SMFG/SMBCの持分法適用会社化
- 追加出資機会を模索していたところ、The Carlyle Group 関連会社CA Basque Investmentsと4.2%の取得に合意
 - ✓ **取得価格**：追加出資分も、20%分と同じ価格で合意（**PBR1.4倍**、出資額約510億円、のれん約150億円）
 - ✓ **CET1比率影響**：今回追加分で▲5bps、既出資分と合わせて▲29bps
 - ✓ **投資採算**：5年目にのれん償却後の貢献利益240億円、**投資ROE10%超**を想定（20%出資から+40億円）

事業ポートフォリオの入替

- 同時に、インドでの事業ポートフォリオの入替のため、Kotak Mahindra Bank株式を売却し、資本効率を追求
- 2010年の出資以降、資産運用・投資銀行の分野で業務提携中。売却後も協働関係を維持

売却額	1,060億円
売却益	940億円
CET1比率影響	+7bps



本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。